

第 3 回 九州バイオマス発見活用協議会 議事録

開催日：平成 21 年 3 月 12 日(木曜日) 14 時 00 分～16 時 00 分

場 所：ホテル法華クラブ熊本 8 階 阿蘇の間

出席者：「第 3 回九州バイオマス発見活用協議会出席者名簿」参照

内 容

1. 開 会：(株)TRES 松野尾 淳

2. 挨拶：座長 九州大学大学院農学研究院 吉田 茂二郎 様
：九州農政局 企画調整室 室長 篠原 隆 様

3. 議 事

(1) 「高校生バイオマス番組制作コンテスト」優勝校発表他

・ 優勝校発表：鹿児島県立 鶴翔高等学校 放送部

・ 製作番組放映

内容：焼酎粕を飼料へのリサイクル工場紹介と意義。鶏糞を燃料とした発電所の紹介と意義

・ 「高校生バイオマス番組制作コンテスト」の参加校作品紹介と講評

九州龍谷短期大学教授 天野 紘 様

・ 優勝校表彰状授与：座長、吉田茂二郎様から鶴翔高等学校放送部生徒 3 名様に授与

・ 記念撮影：放送部担当教諭、奥田純一様・放送部生徒 3 名様・座長、吉田茂二郎様

特記事項

同上の優勝校発表から、記念撮影までについて当日「テレビ西日本」が取材をした。

3 月 28 日(土)午後 6 時 30 分～7 時 00 分：番組名「ぐるぐるアース」で放映予定。

(2) 「地域バイオマスの実地調査」進捗状況報告

「九州地域バイオ燃料利用推進委員会」活動報告

・ 配布資料「平成 20 年度地域に根ざした環境バイオマスに関する意識改革

九州地域事業」の P1～P4 を(株)TRES 福田から報告。

・ 配布資料「平成 20 年度地域に根ざした環境バイオマスに関する意識改革

九州地域事業 実地調査」(調査対象 熊本県宇城市)(調査対象 大分県竹田市)

宇城市：P26・竹田市：P25 を比較説明報告

現在、農業ハウス等に使用中の化石燃料使用料に対して、

利用可能なバイオマス量がいかに各々あるか比較。

宇城市：12,4%に対し竹田市：198,3%。地域によってこれだけのばらつきがある。

[質疑応答]

九州電技開発(株)

・ 竹田市の「利用可能なバイオマス量」の内、林地残材の利用可能量：6,228t/年の出し方を教えてください。

福 田： 竹田市の実地調査報告書 P13 により説明
林地残材発生量：8,897t/年の 70%(6,228t/年)は搬出可能。聞き取り調査の結果。
座 長： 宇城市の「利用可能なバイオマス量」の中に「製材廃材」はないのか？
福 田： 宇城市の方から、まず量が出ているものから調べてほしいと言われて、
製材廃材は出ていない
ということから、リストから外れたと思います。

- (3) 「地域バイオマス利活用のための普及・啓発事業」実施報告
- ・ 配布資料「平成 20 年度地域に根ざした環境バイオマスに関する意識改革九州地域事業」の P5 ~ P14 を(株)TRES 松野尾から報告。

[質疑応答]：なし

- (4) 「地域の発意に基づく実地体験モデル事業」実施報告
- ・ 配布資料「平成 20 年度地域に根ざした環境バイオマスに関する意識改革九州地域事業」の P15 について
「使用済み天ぷら油からできるバイオディーゼル燃料体験学習講座」を
NPO 法人九州バイオマスフォーラム：奈良 様から報告
「バイオマス施設(メタン発酵施設ほか)での実地体験学習」を
九州産廃株式会社：持永 様から報告
 - ・ 配布資料「平成 20 年度地域に根ざした環境バイオマスに関する意識改革九州地域事業」の P16 を(株)TRES 松野尾から報告

[質疑応答]：なし

4 . その他

[質疑応答]

長崎県：農政局におたずねいたしますけど、

バイオマスに関する「実地調査」「普及啓発」の今回のような事業計画は、新年度の予定はどのようになっているのでしょうか？

農政局：平成 21 年度は予算的には本年度より 5 千万円したまわり、3 億円程度であって若干の内容変更があつて、「実地調査」は本年度並みで、「普及啓発」が全国統一され、メディアを中心として行われるものと思われる。いずれにせよ、来週の

「平成 20 年度環境バイオマス総合事業推進事業」第三回全国大会の席上にて来年度の事業計画の説明があるものと思われまますから、わかり次第関係者の方には、連絡したいと考えております。

5 . 閉 会：座長

事務局：(株)TRES 松野尾からお礼の挨拶。

以上